

# 自己資本の充実の 状況等について

(バーゼルⅡ (第3の柱) に基づく開示項目)

# BANK

## 定量的な開示事項・単体

自己資本の構成に関する事項 (国内基準)	59
自己資本の充実度に関する事項 (国内基準)	60
信用リスクに関する事項	61
信用リスク削減手法に関する事項	64
派生商品取引及び長期決済期間取引の取引相手のリスクに関する事項	64
証券化エクスポージャーに関する事項	64
銀行勘定における出資等又は株式等エクスポージャーに関する事項	65
銀行勘定における金利リスクに関して銀行が内部管理上使用した金利ショックに対する経済的価値の増減額	65

## 定量的な開示事項・連結

自己資本比率告示第31条第1項第2号イからハまでに掲げる控除項目の対象となる会社のうち、規制上の所要自己資本を下回った会社の名称と所要自己資本を下回った額の総額	66
自己資本の構成に関する事項 (国内基準)	66
自己資本の充実度に関する事項 (国内基準)	67
信用リスクに関する事項	68
信用リスク削減手法に関する事項	71
派生商品取引及び長期決済期間取引の取引相手のリスクに関する事項	71
証券化エクスポージャーに関する事項	71
銀行勘定における出資等又は株式等エクスポージャーに関する事項	72
銀行勘定における金利リスクに関して連結グループが内部管理上使用した金利ショックに対する経済的価値の増減額	72

# 定量的な開示事項・単体

## 自己資本の構成に関する事項（国内基準）

（単位：百万円）

項目	平成24年9月期	平成25年9月期
基本的项目 (Tier I)		
資本金	49,759	49,759
資本準備金	39,704	39,704
その他資本剰余金	11	3
利益準備金	10,055	10,055
その他利益剰余金	97,127	109,889
自己株式(△)	5,255	5,239
社外流出予定額(△)	1,397	1,397
新株予約権	138	196
計 (A)	190,143	202,971
補完的项目 (Tier II)		
土地の再評価額と再評価の直前の帳簿価額の差額の45%相当額	5,206	5,189
一般貸倒引当金	5,251	4,609
計	10,457	9,799
うち自己資本への算入額 (B)	10,457	9,799
控除項目 (C)	—	—
自己資本額 (D)	200,600	212,771
リスク・アセット等 (E)		
資産(オン・バランス)項目	1,612,690	1,689,692
オフ・バランス取引等項目	10,390	8,570
信用リスク・アセットの額 (E)	1,623,080	1,698,262
オペレーショナル・リスク相当額に係る額(G/8%) (F)	127,600	126,900
(参考)オペレーショナル・リスク相当額 (G)	10,208	10,152
計(E) + (F) (H)	1,750,681	1,825,163
単体自己資本比率=(D)/(H)×100(%)	11.45	11.65
(参考)Tier I比率=(A)/(H)×100(%)	10.86	11.12

自己資本比率は、銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準（平成18年金融庁告示第19号）に定められた算式に基づき算出しております。なお、本頁以降における「自己資本比率告示」とは、平成18年金融庁告示第19号を指しております。なお、当行は、国内基準を適用のうえ、信用リスク・アセットの算出においては標準的手法を採用しております。

## 自己資本の充実度に関する事項（国内基準）

## ◎信用リスクに対する所要自己資本の額及びポートフォリオごとの額

（単位：百万円）

	平成24年9月期		平成25年9月期	
	リスク・アセット	所要自己資本額	リスク・アセット	所要自己資本額
1. 信用リスク・アセットと所要自己資本の額合計（注）1	1,623,080	64,923	1,698,262	67,930
①標準的手法が適用されるポートフォリオごとの エクスポージャー（注）2	1,623,080	64,923	1,698,262	67,930
ソブリン向け（注）3	2,463	98	2,689	107
金融機関等向け	20,698	827	16,084	643
法人等向け	579,909	23,196	606,386	24,255
中小企業等向け及び個人向け	343,194	13,727	359,222	14,368
抵当権付住宅ローン	239,480	9,579	271,250	10,850
不動産取得等事業向け	295,768	11,830	294,723	11,788
三月以上延滞等	4,473	178	3,344	133
信用保証協会等による保証付 出資等	9,946	397	11,092	443
その他（オフバランス取引含む）	85,597	3,423	81,362	3,254
②証券化エクスポージャー	—	—	—	—
2. オペレーショナル・リスク相当額に係る額（注）4	127,600	5,104	126,900	5,076
3. 単体総所要自己資本額（1+2）（注）5	1,750,681	70,027	1,825,163	73,006

（注）1. 所要自己資本の額＝リスク・アセット×4%

「リスク・アセット」とは、リスクを有する資産（貸出金や有価証券など）をリスクの大きさに応じて掛け目を乗じ、再評価した資産金額のことであります。

2. 「エクスポージャー」とは貸出金、外国為替取引などの与信取引と有価証券などの投資資産等が該当します。

3. 「ソブリン」とは中央政府、地方公共団体、我が国の政府関係機関等公的機関のことであります。

4. オペレーショナル・リスク相当額に係る額の算出手法は、基礎的手法を採用しております。

＜オペレーショナル・リスク相当額に係る額（基礎的手法）の算出方法＞

$$\frac{\text{粗利益（直近3年間のうち正の値の合計額）} \times 15\%}{\text{直近3年間のうち粗利益が正の値であった年数}} \div 8\%$$

5. 単体総所要自己資本額＝単体自己資本比率の分母の額×4%

当行の保有する証券化エクスポージャーについては、貸付債権担保住宅金融庫債券のみであり、標準的手法が適用されるポートフォリオごとのエクスポージャーのうちソブリン向けに区分しております。

# 定量的な開示事項・単体

## 信用リスクに関する事項

### (1) 信用リスクに関するエクスポージャーの期末残高（単体）

（単位：百万円）

エクスポージャーの区分	信用リスクに関するエクスポージャーの期末残高								
	貸出金、コミットメント及びその他の債権・デリバティブ以外の取引(注)				債 券		デリバティブ取引		
	平成24年 9月期	平成25年 9月期	平成24年 9月期	平成25年 9月期	平成24年 9月期	平成25年 9月期	平成24年 9月期	平成25年 9月期	
地域別									
国内計	3,829,398	3,991,521	2,934,523	3,112,268	894,875	879,251	—	0	
国外計	34,650	36,438	10,275	11,527	24,375	24,911	—	—	
合計	3,864,048	4,027,959	2,944,798	3,123,796	919,250	904,162	—	0	
業種別									
製造業	176,313	196,658	175,526	196,256	787	401	—	—	
農業、林業	2,815	2,593	2,815	2,593	—	—	—	—	
漁業	1,406	1,605	1,406	1,605	—	—	—	—	
鉱業、採石業、砂利採取業	5,784	5,478	5,784	5,478	—	—	—	—	
建設業	141,588	144,020	141,098	143,320	490	700	—	—	
電気・ガス・熱供給・水道業	10,405	9,991	10,405	9,991	—	—	—	—	
情報通信業	24,277	22,780	22,270	20,774	2,006	2,006	—	—	
運輸業、郵便業	120,810	132,850	81,043	89,992	39,766	42,857	—	—	
卸売業、小売業	208,993	210,200	205,422	206,617	3,570	3,582	—	0	
金融業、保険業	363,916	409,638	308,366	356,416	55,550	53,222	—	—	
不動産業、物品賃貸業	540,218	537,345	538,074	535,331	2,144	2,014	—	—	
各種サービス業	241,901	238,742	240,553	238,002	1,348	740	—	—	
国・地方公共団体	910,645	900,211	97,073	101,603	813,571	798,608	—	—	
個人	1,002,171	1,102,680	1,002,171	1,102,680	—	—	—	—	
その他	112,798	113,161	112,784	113,132	13	28	—	—	
合計	3,864,048	4,027,959	2,944,798	3,123,796	919,250	904,162	—	0	
残存期間別									
1年以下	575,040	693,721	520,564	590,062	54,476	103,657	—	0	
1年超3年以下	479,121	419,446	282,584	258,632	196,536	160,813	—	—	
3年超5年以下	421,114	404,080	299,545	293,599	121,568	110,481	—	—	
5年超7年以下	283,399	299,336	164,940	192,457	118,458	106,879	—	—	
7年超	1,945,641	2,040,901	1,517,431	1,618,571	428,209	422,329	—	—	
期間の定めのないもの	159,730	170,473	159,730	170,473	—	—	—	—	
合計	3,864,048	4,027,959	2,944,798	3,123,796	919,250	904,162	—	0	

（注）現金、預け金、営業用資産等を含んでおります。

## (2) 三月以上延滞エクスポージャーの期末残高

(単位：百万円)

エクスポージャーの区分	三月以上延滞エクスポージャー	
	平成24年9月期	平成25年9月期
地域別		
国内計	6,509	4,639
国外計	—	—
合計	6,509	4,639
業種別		
製造業	32	122
農業、林業	0	—
漁業	—	—
鉱業、採石業、砂利採取業	—	—
建設業	816	306
電気・ガス・熱供給・水道業	500	—
情報通信業	—	—
運輸業、郵便業	18	0
卸売業、小売業	359	270
金融業、保険業	0	—
不動産業、物品賃貸業	1,561	1,448
各種サービス業	980	955
国・地方公共団体	—	—
個人	2,240	1,537
その他	—	—
合計	6,509	4,639

(注) 「三月以上延滞エクスポージャー」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から3か月以上延滞しているエクスポージャーのことであります。

## (3) 一般貸倒引当金、個別貸倒引当金の期末残高及び期中の増減額

(単位：百万円)

		期首残高	当期増加額	当期減少額		中間期末残高
				目的使用	その他	
一般貸倒引当金	平成24年9月期	5,374	4,873	—	5,374	4,873
	平成25年9月期	4,269	4,268	—	4,269	4,268
個別貸倒引当金	平成24年9月期	7,984	7,933	612	7,371	7,933
	平成25年9月期	7,817	6,432	974	6,843	6,432
合計	平成24年9月期	13,358	12,807	612	12,745	12,807
	平成25年9月期	12,087	10,701	974	11,113	10,701

(注) 1. 一般貸倒引当金については、地域別及び業種別又は取引相手の別の算定を行っていないため、記載を省略しております。  
 2. 特定海外債権引当勘定については該当事項はありません。

# 定量的な開示事項・単体

## ◎地域別の個別貸倒引当金

(単位：百万円)

	期首残高		当期増減額		中間期末残高	
	平成24年9月期	平成25年9月期	平成24年9月期	平成25年9月期	平成24年9月期	平成25年9月期
国内計	7,984	7,817	△50	△1,385	7,933	6,432
国外計	—	—	—	—	—	—
合計	7,984	7,817	△50	△1,385	7,933	6,432

## ◎業種別の個別貸倒引当金及び貸出金償却の額等

(単位：百万円)

	個別貸倒引当金						貸出金償却	
	期首残高		当期増減額		中間期末残高			
	平成24年9月期	平成25年9月期	平成24年9月期	平成25年9月期	平成24年9月期	平成25年9月期	平成24年9月期	平成25年9月期
製造業	241	332	△62	△53	179	279	—	—
農業、林業	—	—	—	2	—	2	—	—
漁業	—	—	—	—	—	—	—	—
鉱業、採石業、砂利採取業	105	38	△0	△0	105	38	—	—
建設業	465	334	55	△21	520	312	—	—
電気・ガス・熱供給・水道業	250	213	—	△213	250	—	—	—
情報通信業	26	24	△1	△5	25	19	—	—
運輸業、郵便業	106	33	△62	△9	43	24	—	—
卸売業、小売業	756	694	△32	△144	724	550	—	—
金融業、保険業	0	—	—	—	0	—	—	—
不動産業、物品賃貸業	1,943	2,260	250	△654	2,193	1,606	—	—
各種サービス業	2,353	2,286	△80	△182	2,273	2,104	—	—
国・地方公共団体	—	—	—	—	—	—	—	—
個人	1,517	1,491	△10	△94	1,507	1,396	—	0
その他	217	108	△108	△9	109	98	—	—
合計	7,984	7,817	△50	△1,385	7,933	6,432	—	0

(注) 貸出金償却額は、個別貸倒引当金の目的使用による取崩後のネット金額を記載しております。

## (4) リスク・ウェイトの区分ごとの信用リスク削減手法の効果을 勘案した後の残高及び資本控除した額

(単位：百万円)

	信用リスク削減手法勘案後のエクスポージャーの額			
	平成24年9月期		平成25年9月期	
	格付適用	格付不適用	格付適用	格付不適用
0%	—	1,123,966	—	1,094,027
10%	—	127,544	—	140,900
20%	84,293	237,534	86,948	265,231
35%	—	688,529	—	779,366
50%	208,741	3,223	236,253	2,086
75%	—	474,797	—	495,922
100%	71,823	841,894	60,174	865,830
150%	—	1,699	—	1,217
自己資本控除額	—	—	—	—
合計	364,858	3,499,190	383,376	3,644,582

「格付適用」とは、リスク・ウェイト算定にあたり、格付を適用しているエクスポージャーであり、「格付不適用」とは、格付を適用していないエクスポージャーであります。なお、格付は適格格付機関が付与しているものに限っております。

「格付適用」エクスポージャーには、リスク・ウェイトの算定にあたって、原債務者の格付を適用しているエクスポージャーに加え、保証人の格付を適用しているエクスポージャーが含まれます。

## 信用リスク削減手法に関する事項

### ◎信用リスク削減手法が適用されたエクスポージャーの額

(単位：百万円)

信用リスク削減手法 エクスポージャーの種類	適格金融資産担保		保証	
	平成24年9月期	平成25年9月期	平成24年9月期	平成25年9月期
ソブリン向け	—	—	59,425	62,047
金融機関等向け	185,001	215,000	—	—
法人等向け	7,743	5,732	22,679	15,857
中小企業等向け及び個人向け	11,331	11,164	2,115	1,579
抵当権付住宅ローン	81	82	—	—
不動産取得等事業向け	687	1,202	—	—
三月以上延滞等	48	60	97	71
合計	204,894	233,242	84,317	79,556

## 派生商品取引及び長期決済期間取引の取引相手のリスクに関する事項

### (1) 派生商品取引

- ①与信相当額の算出に用いる方式  
カレントエクスポージャー方式
- ②グロス再構築コストの合計額及び与信相当額

(単位：百万円)

	平成24年9月期	平成25年9月期
グロス再構築コストの額	—	0
与信相当額(担保による信用リスク削減効果勘案前)	—	0
派生商品取引	—	0
外国為替関連取引	—	0
金利関連取引	—	—
株式関連取引	—	—
その他取引	—	—
クレジット・デリバティブ	—	—
与信相当額(担保による信用リスク削減効果勘案後)	—	0

原契約期間が5営業日以内の外国為替関連取引については、上記記載から除いております。  
与信相当額(担保による信用リスク削減効果勘案前)は、再構築コスト及びグロスのアドオン額(想定元本額に自己資本比率告示第79条の2第3項第1号に定める掛け目を乗じた額)の合計額であります。  
与信相当額については、担保による信用リスク削減手法は採用していません。

### (2) 長期決済期間取引

該当事項はありません。

## 証券化エクスポージャーに関する事項

### (1) 銀行がオリジネーターである場合

該当事項はありません。

### (2) 銀行が投資家の場合

- ①保有する証券化エクスポージャーの額及び主な原資産の種類別の内訳

(単位：百万円)

	平成24年9月期	平成25年9月期
証券化エクスポージャーの額	5,754	4,486
住宅ローン	5,754	4,486

- ②保有する証券化エクスポージャーのリスク・ウェイトの区分ごとの残高及び所要自己資本の額

(単位：百万円)

告示で定める リスク・ウェイト区分	エクスポージャー残高		所要自己資本の額	
	平成24年9月期	平成25年9月期	平成24年9月期	平成25年9月期
10%	5,754	4,486	23	17

\*証券化エクスポージャーについては、住宅金融支援機構が発行する貸付債権担保住宅金融公庫債券のみであり、住宅金融支援機構向けエクスポージャーとして管理しております。

\*再証券化エクスポージャーについては、該当事項はありません。

# 定量的な開示事項・単体

- ③自己資本比率告示第247条の規定により自己資本から控除した証券化エクスポージャーの額及び主な原資産の種類別の内訳  
該当事項はありません。
- ④保有する再証券化エクスポージャーに対する信用リスク削減手法の適用の有無及び保証人ごと又は当該保証人に適用されるリスク・ウェイトの区分ごとの内訳  
該当事項はありません。
- ⑤証券化エクスポージャーに関する経過措置（自己資本比率告示附則第15条）の適用により算出される信用リスク・アセットの額  
該当事項はありません。

## 銀行勘定における出資等又は株式等エクスポージャーに関する事項

- (1) 出資等又は株式等エクスポージャーの中間貸借対照表計上額及び時価、中間貸借対照表で認識され、かつ、中間損益計算書で認識されない評価損益の額

(単位：百万円)

区分	中間貸借対照表計上額	時価	評価差額	評価差額	
				うち益	うち損
上場株式等エクスポージャー	平成24年9月期	42,679	△9,146	1,845	10,992
	平成25年9月期	69,298	17,594	17,897	303
上記以外の株式等エクスポージャー	平成24年9月期	721	—	—	—
	平成25年9月期	713	—	—	—
合計	平成24年9月期	43,401	△9,146	1,845	10,992
	平成25年9月期	70,012	17,594	17,897	303

中間貸借対照表計上額は、中間期末日における市場価格等に基づいております。

- (2) 出資等又は株式等エクスポージャーの売却及び償却に伴う損益の額

(単位：百万円)

区分	売却額	売却益		株式等償却
		売却益	売却損	
出資等又は株式等エクスポージャー	平成24年9月期	281	71	77
	平成25年9月期	635	375	—

- (3) 中間貸借対照表及び中間損益計算書で認識されない評価損益の額

該当事項はありません。

## 銀行勘定における金利リスクに関して銀行が内部管理上使用した金利ショックに対する経済的価値の増減額

### ◎金利ショックに対する経済的価値の変動額 (VaR)

(単位：百万円)

平成24年9月期	5,148
平成25年9月期	8,314

前提条件：信頼区間99%、保有期間6ヵ月、観測期間1年、分散共分散法にて算出しております。

※流動性預金についてコア預金（明確な金利改定間隔がなく、預金者の要求によって随時払い出される預金のうち、引き出されることなく長期間銀行に滞留する預金）の評価を導入しております。

### 〈要因分析〉

経済的価値の変動額 (VaR) が前年同期に比して増加した主な要因は、金融環境の変化により市場金利の変動率が上昇したことによるものであります。



## 自己資本比率告示第31条第1項第2号イからハまでに掲げる控除項目の対象となる会社のうち、規制上の所要自己資本を下回った会社の名称と所要自己資本を下回った額の総額

当行には、自己資本比率告示第31条第1項第2号イからハまでに掲げる控除項目の対象となる会社はありません。

### 自己資本の構成に関する事項（国内基準）

(単位：百万円)

項目	平成24年9月期	平成25年9月期
資本金	49,759	49,759
資本剰余金	39,729	39,721
利益剰余金	107,835	120,652
基本的項目 (Tier I)		
自己株式(△)	5,269	5,252
社外流出予定額(△)	1,394	1,396
新株予約権	138	196
連結子法人等の少数株主持分	1,694	1,983
計 (A)	192,494	205,664
補完的項目 (Tier II)		
土地の再評価額と再評価の直前の帳簿価額の差額の45%相当額	5,206	5,189
一般貸倒引当金	5,584	4,844
計	10,791	10,034
うち自己資本への算入額 (B)	10,791	10,034
控除項目 (C)	—	—
自己資本額 (A) + (B) - (C) (D)	203,285	215,699
資産(オン・バランス)項目	1,615,094	1,692,123
オフ・バランス取引等項目	10,390	8,570
リスク・アセット等		
信用リスク・アセットの額 (E)	1,625,484	1,700,694
オペレーショナル・リスク相当額に係る額(G/8%) (F)	128,025	127,774
(参考)オペレーショナル・リスク相当額 (G)	10,242	10,221
計(E) + (F) (H)	1,753,509	1,828,468
連結自己資本比率 = (D) / (H) × 100(%)	11.59	11.79
(参考)Tier I 比率 = (A) / (H) × 100(%)	10.97	11.24

自己資本比率は、銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準（平成18年金融庁告示第19号）に定められた算式に基づき算出しております。

なお、当行は、国内基準を適用のうえ、信用リスク・アセットの算出においては標準的手法を採用しております。

# 定量的な開示事項・連結

## 自己資本の充実度に関する事項（国内基準）

### ◎信用リスクに関する所要自己資本の額及びポートフォリオごとの額

（単位：百万円）

	平成24年9月期		平成25年9月期	
	リスク・アセット	所要自己資本額	リスク・アセット	所要自己資本額
1. 信用リスク・アセットと所要自己資本の額合計(注)1	1,625,484	65,019	1,700,694	68,027
①標準的手法が適用されるポートフォリオごとの エクスポージャー(注)2	1,625,484	65,019	1,700,694	68,027
ソブリン向け(注)3	2,463	98	2,689	107
金融機関等向け	20,762	830	16,155	646
法人等向け	579,167	23,166	605,700	24,228
中小企業等向け及び個人向け	343,194	13,727	359,222	14,368
抵当権付住宅ローン	239,480	9,579	271,250	10,850
不動産取得等事業向け	295,768	11,830	294,723	11,788
三月以上延滞等	4,992	199	3,800	152
信用保証協会等による保証付 出資等	9,946	397	11,092	443
出資等	41,568	1,662	52,128	2,085
その他（オフバランス取引含む）	88,139	3,525	83,931	3,357
②証券化エクスポージャー	—	—	—	—
2. オペレーショナル・リスク相当額に係る額(注)4	128,025	5,121	127,774	5,110
3. 連結総所要自己資本額（1+2）(注)5	1,753,509	70,140	1,828,468	73,138

- (注) 1. 所要自己資本の額=リスク・アセット×4%  
「リスク・アセット」とは、リスクを有する資産（貸出金や有価証券など）をリスクの大きさに応じて掛け目を乗じ、再評価した資産金額のことであります。  
2. 「エクスポージャー」とは貸出金、外国為替取引などの与信取引と有価証券などの投資資産等が該当します。  
3. 「ソブリン」とは中央政府、地方公共団体、我が国の政府関係機関等公的機関のことであります。  
4. オペレーショナル・リスク相当額に係る額の算出手法は、当行は基礎的手法を採用しております。

<オペレーショナル・リスク相当額に係る額（基礎的手法）の算出方法>

$$\frac{\text{粗利益（直近3年間のうち正の値の合計額）} \times 15\%}{\text{直近3年間のうち粗利益が正の値であった年数}} \div 8\%$$

5. 連結総所要自己資本額=連結自己資本比率の分母の額×4%

連結グループの保有する証券化エクスポージャーについては、貸付債権担保住宅金融公庫債券のみであり、標準的手法が適用されるポートフォリオごとのエクスポージャーのうちソブリン向けに区分しております。

## 信用リスクに関する事項

## (1) 信用リスクに関するエクスポージャーの期末残高

(単位：百万円)

エクスポージャーの区分	信用リスクに関するエクスポージャーの期末残高							
	貸出金、コミットメント及び その他の債権・デリバティブ 以外の取引(注)				債 券		デリバティブ取引	
	平成24年 9月期	平成25年 9月期	平成24年 9月期	平成25年 9月期	平成24年 9月期	平成25年 9月期	平成24年 9月期	平成25年 9月期
地域別								
国内計	3,833,025	3,995,362	2,937,149	3,115,110	895,875	880,251	—	0
国外計	34,836	36,512	10,461	11,601	24,375	24,911	—	—
合計	3,867,861	4,031,875	2,947,611	3,126,711	920,250	905,162	—	0
業種別								
製造業	176,313	196,658	175,526	196,256	787	401	—	—
農業、林業	2,815	2,593	2,815	2,593	—	—	—	—
漁業	1,406	1,605	1,406	1,605	—	—	—	—
鉱業、採石業、砂利採取業	5,784	5,478	5,784	5,478	—	—	—	—
建設業	141,588	144,020	141,098	143,320	490	700	—	—
電気・ガス・熱供給・水道業	10,405	9,991	10,405	9,991	—	—	—	—
情報通信業	24,277	22,780	22,270	20,774	2,006	2,006	—	—
運輸業、郵便業	120,810	132,850	81,043	89,992	39,766	42,857	—	—
卸売業、小売業	208,993	210,200	205,422	206,617	3,570	3,582	—	0
金融業、保険業	362,685	408,672	307,135	355,449	55,550	53,222	—	—
不動産業、物品賃貸業	540,218	537,345	538,074	535,331	2,144	2,014	—	—
各種サービス業	241,851	238,692	240,503	237,952	1,348	740	—	—
国・地方公共団体	911,645	901,211	97,073	101,603	814,571	799,608	—	—
個人	1,003,318	1,103,663	1,003,318	1,103,663	—	—	—	—
その他	115,745	116,110	115,731	116,081	13	28	—	—
合計	3,867,861	4,031,875	2,947,611	3,126,711	920,250	905,162	—	0
残存 期間別								
1年以下	574,656	693,611	519,679	589,452	54,976	104,157	—	0
1年超3年以下	479,621	419,946	282,584	258,632	197,036	161,313	—	—
3年超5年以下	421,114	404,080	299,545	293,599	121,568	110,481	—	—
5年超7年以下	283,399	299,336	164,940	192,457	118,458	106,879	—	—
7年超	1,945,641	2,040,901	1,517,431	1,618,571	428,209	422,329	—	—
期間の定めのないもの	163,428	173,999	163,428	173,999	—	—	—	—
合計	3,867,861	4,031,875	2,947,611	3,126,711	920,250	905,162	—	0

(注) 現金、預け金、営業用資産等を含んでおります。

# 定量的な開示事項・連結

## (2) 三月以上延滞エクスポージャーの期末残高

(単位：百万円)

エクスポージャーの区分	三月以上延滞エクスポージャー	
	平成24年9月期	平成25年9月期
地域別		
国内計	6,851	4,992
国外計	—	—
合計	6,851	4,992
業種別		
製造業	32	122
農業、林業	0	—
漁業	—	—
鉱業、採石業、砂利採取業	—	—
建設業	816	306
電気・ガス・熱供給・水道業	500	—
情報通信業	—	—
運輸業、郵便業	18	0
卸売業、小売業	359	270
金融業、保険業	0	—
不動産業、物品賃貸業	1,561	1,448
各種サービス業	980	955
国・地方公共団体	—	—
個人	2,582	1,889
その他	—	—
合計	6,851	4,992

(注) 「三月以上延滞エクスポージャー」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から3か月以上延滞しているエクスポージャーのことであります。

## (3) 一般貸倒引当金、個別貸倒引当金の期末残高及び期中の増減額

(単位：百万円)

		期首残高	当期増加額	当期減少額		中間期末残高
				目的使用	その他	
一般貸倒引当金	平成24年9月期	5,845	5,207	—	5,845	5,207
	平成25年9月期	4,555	4,503	—	4,555	4,503
個別貸倒引当金	平成24年9月期	8,310	8,259	734	7,576	8,259
	平成25年9月期	8,123	6,785	1,025	7,098	6,785
合計	平成24年9月期	14,156	13,467	734	13,422	13,467
	平成25年9月期	12,678	11,288	1,025	11,653	11,288

(注) 1. 一般貸倒引当金については、地域別及び業種別又は取引相手の別の算定を行っていないため、記載を省略しております。  
2. 特定海外債権引当勘定については該当事項はありません。

## ◎地域別の個別貸倒引当金

(単位：百万円)

	期首残高		当期増減額		中間期末残高	
	平成24年9月期	平成25年9月期	平成24年9月期	平成25年9月期	平成24年9月期	平成25年9月期
国内計	8,310	8,123	△51	△1,337	8,259	6,785
国外計	—	—	—	—	—	—
合計	8,310	8,123	△51	△1,337	8,259	6,785

## ◎業種別の個別貸倒引当金及び貸出金償却の額等

(単位：百万円)

	個別貸倒引当金						貸出金償却	
	期首残高		当期増減額		中間期末残高		平成24年9月期	平成25年9月期
	平成24年9月期	平成25年9月期	平成24年9月期	平成25年9月期	平成24年9月期	平成25年9月期		
製造業	241	332	△62	△53	179	279	—	—
農業、林業	—	—	—	2	—	2	—	—
漁業	—	—	—	—	—	—	—	—
鉱業、採石業、砂利採取業	105	38	△0	△0	105	38	—	—
建設業	465	334	55	△21	520	312	—	—
電気・ガス・熱供給・水道業	250	213	—	△213	250	—	—	—
情報通信業	26	24	△1	△5	25	19	—	—
運輸業、郵便業	106	33	△62	△9	43	24	—	—
卸売業、小売業	756	694	△32	△144	724	550	—	—
金融業、保険業	0	—	—	—	0	—	—	—
不動産業、物品賃貸業	1,943	2,260	250	△654	2,193	1,606	—	—
各種サービス業	2,353	2,286	△80	△182	2,273	2,104	—	—
国・地方公共団体	—	—	—	—	—	—	—	—
個人	1,834	1,786	△11	△46	1,822	1,740	2	2
その他	227	118	△107	△10	120	107	—	—
合計	8,310	8,123	△51	△1,337	8,259	6,785	2	2

(注) 貸出金償却額は、個別貸倒引当金の目的使用による取崩後のネット金額を記載しております。

## (4) リスク・ウェイトの区分ごとの信用リスク削減手法の効果を勘案した後の残高及び資本控除した額

(単位：百万円)

	信用リスク削減手法勘案後のエクスポージャーの額			
	平成24年9月期		平成25年9月期	
	格付適用	格付不適用	格付適用	格付不適用
0%	—	1,124,967	—	1,095,027
10%	—	127,544	—	140,900
20%	84,293	237,854	86,948	265,585
35%	—	688,529	—	779,366
50%	208,741	3,223	236,253	2,086
75%	—	474,797	—	495,922
100%	71,823	844,045	60,174	868,039
150%	—	2,041	—	1,569
自己資本控除額	—	—	—	—
合計	364,858	3,503,003	383,376	3,648,498

「格付適用」とは、リスク・ウェイト算定にあたり、格付を適用しているエクスポージャーであり、「格付不適用」とは、格付を適用していないエクスポージャーであります。なお、格付は適格格付機関が付与しているものに限っております。

「格付適用」エクスポージャーには、リスク・ウェイトの算定にあたって、原債務者の格付を適用しているエクスポージャーに加え、保証人の格付を適用しているエクスポージャーが含まれます。

## 信用リスク削減手法に関する事項

---

連結子会社においては、信用リスク削減手法に関する事項については該当がないため、記載を省略します。単体の記載P64をご参照下さい。

## 派生商品取引及び長期決済期間取引の取引相手のリスクに関する事項

---

連結子会社においては派生商品取引及び長期決済期間取引の取引相手のリスクに関する事項については該当がないため、記載を省略します。単体の記載P64をご参照下さい。

## 証券化エクスポージャーに関する事項

---

連結子会社においては証券化エクスポージャーに関する事項は該当がないため、記載を省略します。単体の記載P64、P65をご参照下さい。

## 銀行勘定における出資等又は株式等エクスポージャーに関する事項

- (1) 出資等又は株式等エクスポージャーの中間連結貸借対照表計上額及び時価、中間連結貸借対照表で認識され、かつ、中間連結損益計算書で認識されない評価損益の額

(単位：百万円)

区分	中間連結貸借対照表計上額	時 価	評価差額	うち	
				益	損
上場株式等エクスポージャー	平成24年9月期	42,866	△9,034	1,958	10,992
	平成25年9月期	69,632	17,854	18,158	303
上記以外の株式等エクスポージャー	平成24年9月期	668	—	—	—
	平成25年9月期	660	—	—	—
合 計	平成24年9月期	43,534	△9,034	1,958	10,992
	平成25年9月期	70,293	17,854	18,158	303

中間連結貸借対照表計上額は、中間連結会計期間末日における市場価格等に基づいております。

- (2) 出資等又は株式等エクスポージャーの売却及び償却に伴う損益の額

(単位：百万円)

区 分	売却額	うち		株式等償却
		益	損	
出資等又は株式等エクスポージャー	平成24年9月期	281	71	77
	平成25年9月期	635	375	—

- (3) 中間連結貸借対照表及び中間連結損益計算書で認識されない評価損益の額

該当事項はありません。

## 銀行勘定における金利リスクに関して連結グループが内部管理上使用した金利ショックに対する経済的価値の増減額

金利リスクは単体のみで算出しており、連結ベースでの算出は行っておりません。単体の記載P65をご参照下さい。

## 単体情報

### 銀行法施行規則第19条の2に基づく開示事項

■ 概況及び組織に関する事項	
□ 大株主一覧	57
■ 主要な業務に関する事項	
□ 事業の概況	32
□ 主な経営指標の推移	32
經常収益、經常利益、中間純利益、当期純利益、 資本金、発行済株式総数、純資産額、総資産額、 預金残高、貸出金残高、有価証券残高、 単体自己資本比率、配当性向、従業員数	
□ 業務に関する指標	
業務粗利益・業務粗利益率	38
資金運用収支、役務取引等収支等	38
資金運用勘定・資金調達勘定の平均残高等	39
資金利鞘	39
受取利息・支払利息の増減	40
総資産經常利益率・自己資本經常利益率	54
総資産中間純利益率・自己資本中間純利益率	54
預金科目別残高	41
定期預金の残存期間別残高	42
貸出金科目別残高	43
貸出金の残存期間別残高	43
預貸率	43
貸出金及び支払承諾見返の担保別内訳	44
貸出金用途別内訳	44
貸出金業種別内訳	44
中小企業等に対する貸出金	45
特定海外債権	45
商品有価証券平均残高	51
有価証券の残存期間別残高	47
保有有価証券残高	47
預証率	51
■ 業務運営に関する事項	
□ 中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組の状況に関する事項	14~18

■ 財産の状況に関する事項	
□ 中間貸借対照表、中間損益計算書、中間株主資本等変動計算書	33~35
□ リスク管理債権	46
破綻先債権、延滞債権、3カ月以上延滞債権、 貸出条件緩和債権	
□ 自己資本の充実の状況について	59~65
□ 時価等情報	
有価証券の情報	48~51
金銭信託の情報	50
デリバティブ取引情報	52~53
□ 貸倒引当金期末残高及び期中増減額	46
□ 貸出金償却の額	46
□ 金融商品取引法に基づく監査証明	33

## 連結情報

### 銀行法施行規則第19条の3に基づく開示事項

■ 銀行及び子会社等の主要な業務に関する事項	
□ 事業の概況	23
□ 主な経営指標の推移	23
經常収益、經常利益、中間純利益、当期純利益、 包括利益、純資産額、総資産額、連結自己資本比率	
■ 銀行及び子会社等の財産の状況に関する事項	
□ 中間連結貸借対照表、中間連結損益計算書、 中間連結株主資本等変動計算書	27~28
□ リスク管理債権額	24
破綻先債権、延滞債権、3カ月以上延滞債権、 貸出条件緩和債権	
□ 自己資本の充実の状況について	66~72
□ セグメント情報等	25~26
□ 金融商品取引法に基づく監査証明	27

### 金融機能の再生のための緊急措置に関する 法律施行規則第6条に基づく開示事項

正常債権	46
要管理債権	46
危険債権	46
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	46





京葉銀行千葉みなとビル(平成27年2月竣工予定)

本冊子は銀行法第21条に基づいて作成したディスクロージャー資料（業務及び財産の状況に関する説明書類）であります。  
本資料中に掲載してある計数は、原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しております。

平成25年12月発行

## 株式会社 京葉銀行 経営企画部

〒260-0015 千葉市中央区富士見1-11-11

TEL (043) 222-2121 (代)

ホームページアドレス <http://www.keiyobank.co.jp>